

「罪を問う」を考える？ …犯罪・少年非行に向けるまなざし

「罪を問う」とはいかなることだろうか？

刑罰をかけることだけだろうか？

「犯罪」「非行」への「厳罰」化の声が高まるなかで、犯罪や非行を多様な観点からご一緒に考えてみませんか。

市民の方の参加を歓迎いたします。(予約不要・参加費無料)

日時 2018年1月11日(木) 15:30～17:00

場所 KPC キャンパス B号館 B202 講義室

基調講演 五十嵐 弘志 氏
(マザーハウス代表:出所者・出院者支援)

構成劇で考える 「非行」を見つめる (シナリオ 2回生)

調査報告・提起

I 「裁く」を考える

* 冤罪受刑者の声、どう拾う？、死刑・我々は何を知ってるか、裁く苦悩

II 「結果」だけが注目される少年「犯罪」

* 「少年非行」のイマを「食」、「家庭」、「自尊感情」から考える

質疑応答

主催 神戸学院大学法学部 (担当 佐々木光明)

問い合わせ先 法学部長補佐室 TEL:078-974-4543